



～未来のために、子どもたちのために～

取り組み報告書
report
2009



* INDEX

目次	1
アカチャンホンポの哲学	2
アカチャンホンポの取り組み	
1. ホワイトリボン運動	3
2. エコ活動	4
3. 子育て支援活動	5
4. 品質・店舗のこだわり	6
2010年に向けて	7



* アカチャンホンポの哲学

安らぎと楽しさと生きがいのある幸せな暮らしを
創造し、会得し、体得して、これを世のため、人のため、
広く販売、提供することが 永久に榮える人の道である。

アカチャンホンポは、昭和7年の創業以来、「安らぎと楽しさと生きがいのある幸せな暮らしをお届けする」を基本理念としてきました。お買物しやすい店舗設計、豊富な品揃え、「ママの声」を活かしたオリジナル商品の開発などで、みなさまの「いちばんしあわせなお買い物」をサポートしています。これからも、赤ちゃんの成長やお客様のニーズ・ウォンツ、ライフスタイルの変化に合わせ、「良い品質、優れた機能の商品をより安く」提供できるよう、努めてまいります。また、「モノ」だけの提供だけでなく、育児情報の発信やマタニティスクールなどの育児支援活動にも力を入れ、赤ちゃんと暮らしのトータルサポートを目標としていきます。



【創業77周年
記念ロゴマーク】

アカチャンホンポは
2009年、おかげさまで
創業77周年を迎ました。

* アカチャンホンポの取り組み

～未来のために、子どもたちのために～



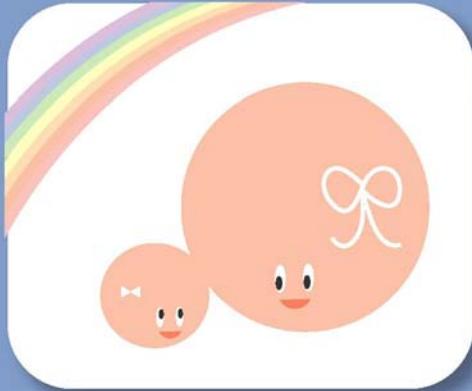
マタニティになった日から、ママへの準備がはじまります。
赤ちゃんが生まれてからは、ママと赤ちゃんが一緒に育っていきます。

出産や育児という人生で素晴らしい時期にかかわりを持てるこを、
アカチャンホンポは感謝します。

アカチャンホンポでは、
赤ちゃんが過ごしていく未来のために、子どもたちのために、
少しでも何かできることがあればと、様々なことに挑戦しています。

赤ちゃんやママが少しづつ成長していくように、
アカチャンホンポも世界のお役にたてるよう、
成長していきたいと考えます。

* 1 ホワイトリボン運動



1分間に1人の割合で亡くなると言われている開発途上国の妊産婦の命を救うことで、赤ちゃんの命も救われます。



ホワイトリボン運動とは、財団法人ジョイセフが推進している開発途上国の妊産婦と赤ちゃんの命と健康を守る運動です。世界では今も、1分間に1人、女性たちが命を生み出すために死亡しているといいます。「未来のために、子どもたちのために」をテーマとするアカチャンホンボでは、ホワイトリボン運動の趣旨に賛同し、活動を応援しています。5月1日（日）よりアカチャンホンボの店内に募金箱を設置しており、これまでに366,782円（2009年11月末時点）の募金が集まりました。いただいた募金はすべて、財団法人ジョイセフを通して開発途上国の母と子の命を守る活動に役立てられて

います。また、8月6日（木）には、アカチャンホンボの本社本部にて募金キャンペーンを実施しました。その際には、アカチャンホンボを訪れる様々な方々にもご協力をいただきました。

◆財団法人ジョイセフホームページ
<http://www.joicfp.or.jp/>



ジョイセフ
JOICFP



【2009年 募金実績】 単位（円）

5月： 38,755
6月： 46,568
7月： 41,374
8月： 153,242（※1）

9月： 41,548
10月： 18,459（※2）
11月： 26,836

（※1）本社本部での募金キャンペーンを含む
（※2）別の募金活動（スマトラ島など災害募金）を実施



＊皆さまのご協力に感謝いたします。

♥ がんばるママを応援します！企画を実施

LOTTE×アカチャンホンボ



5月10日（日）母の日、「がんばるママを応援！」企画として、ホワイトリボン運動を呼びかけるチラシと（株）ロッテのガーナミルクチョコレートをアカチャンホンボの店頭にて配布しました。たくさんのママたちが、笑顔でチラシとチョコレートを受け取っておられました。

その場でホワイトリボン運動の募金に協力していただける方もいらっしゃいました。

Ghana
(株)ロッテはホワイトリボン運動の趣旨に賛同し、ガーナミルクチョコレートの売上の一部を寄付し、ガーナのお母さんと赤ちゃんの命を救う活動に協力しています。



アカチャンホンボは、「ホワイトリボン運動」を応援しています。

* 2 エコ活動



レジ袋1枚を削減することで、
約60gのCO₂が抑制(削減)されます。

出典:環境省の「我が家の環境大臣」
省エネルギーセンター



赤ちゃんがこれから暮らしていく未来をよりよくするために、アカチャンホンポはエコの取り組みを行っています。そのひとつに、6月1日（日）より実施を開始した「エコ割引」があります。「エコ割引」とは税込500円以上お買い上げいただいた方を対象とし、「レジ袋はいりません」とお申し出いただいた場合に2円値引きするというものです。「エコ割引」の開始以降、毎月約5万人の方に「レジ袋いりません」とお申し出いただいています。また「エコ割引」の実施に合わせ、ママが使いやすいよう工夫したアカチャンホンポのオリジナルマイバッグを販売開始しました。レジ袋使用を減らす呼びかけ

をすることで、CO₂削減につなげていきたいと考えています。その他、ママがすぐに取り組め、無理なく生活の中に取り入れられるエコ活動として、育児の中で心がけている「エコ育児」をホームページや携帯サイトから募集しています。ご応募いただいたエコ育児のアイデアは、少しずつホームページ上で紹介し、たくさんのママたちと「エコ育児」のアイデアを共有することを目的としています。また社内でも、エコキャップの回収協力（NPO法人エコキャップ推進協会）や、用紙・エレベーター・電気などの使用を減らす呼びかけをするなど、身近でできる小さなことから、活動を始めています。

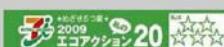
【2009年 エコ割引実績】



6月：71, 632回
7月：61, 415回
8月：57, 267回

9月：52, 910回
10月：55, 106回
11月：54, 993回

【社内での取り組み：エコアクション】



6月の環境月間に合わせて、全パートナーで、「めざせ5つ星私のエコアクション」を実施しました。自分でできるエコの取り組みをチェックして目標を設定し、ネームホルダーに入れておきます。「エコ」をみんなで意識する1ヵ月間となりました。

♥ アカチャンホンポのオリジナルマイバッグ ママの声からできました！



*マイバッグ 税込980円

アカチャンホンポの様々な部署の女性9人が集まったプロジェクトチームで、「育児ママが必要としているマイバッグは何か?」と考えました。育児中のママにアンケートを実施した所3, 633人から回答を頂き、こんなマイバッグが欲しいという意見も1, 764件の回答がありました。その中で「紙おむつが持ち帰れるくらい大きなマイバッグが欲しい」「瓶フードも持ち帰れるようなクッション性が欲しい」といった、育児ママならではの意見に注目。このマイバッグは、内側のカバーを広げることで、おむつが2パック

入るサイズに広がります。哺乳びんや瓶フードを入れるためのクッション入りポーチ付けて、毎回エコアクションで巻く必要がなくなり、ゴミの削減につながります。



6月21日（日）父の日に、神戸阪急店にて花王のメリーズうさちゃんとコラボし、父の日イベント「がんばるパパってかっこいい！」を実施。マイバッグをパパにも持つてもらおうという呼びかけを行いました。

* 3 子育て支援活動



アカチャンホンポでは、子育て支援活動を実施しています。地域の活動にも参加していきます。



マタニティスクールでの様子

アカチャンホンポでは1985年より、全国でマタニティスクールを実施しています。妊娠中の過ごし方や体の変化、出産の仕組みなどを助産師の先生がわかりやすくお話しします。また、赤ちゃん人形を使い、赤ちゃんの抱き方・おむつ換え・沐浴の実習をしたり、マタニティ体験ジャケットを着用したりと、パパとママと一緒に参加できる体験型のスクールとなっており、毎回大好評です。その他にも、栄養相談会や絵本読みきかせのおはなし会など、様々なイベントを店舗で開催し、子育て支援活動を行っています。また、12月14日（月）には、尼崎市立成良中学校にて「総合的な学習」の活動協力を进行了。

2009年12月は、新型インフルエンザ拡大防止のため一部イベントの開催を中止しています。

アカチャンホンポも参加している、子育て支援NPO法人CFFC（※）の理事長、助産師の岡本喜代子先生が「妊婦のからだと赤ちゃんの不思議な力」をテーマに講演。続いてアカチャンホンポから、赤ちゃん人形とマタニティ体験ジャケットの貸し出しを行い、体験実習を行いました。



尼崎市立成良中学校での活動の様子

※ CFFC（チャイルド&ファミリー・フレンドリー・コンソーシアム）は、妊婦や子育て家庭が心地よく暮らせる社会づくりの推進を目的として、民間の育児関連企業十数社が中心となり発足されたNPO法人です。



【埼玉パパ・ママ応援ショップ賞を受賞しました!】

2009年1月、「埼玉パパ・ママ応援ショップ賞」を受賞しました。「パパ・ママ応援ショップ」とは、埼玉県の取り組みで、「子育て家庭を応援する」という趣旨に賛同した法人や店舗が参加しており、埼玉県内のアカチャンホンポも参加しています。今回の受賞は、2008年

9月中旬から11月末にかけて、埼玉県民による「お気に入る店・行ってみたい店」投票結果と、外部有識者も入れた選考委員会で決定した法人・店舗が選ばれました。1月25日（日）「埼玉県地域子育て応援フェスティバル」の会場にて、表彰状を受け取りました。

♥ アカチャンホンポの地域活動

こども110番への参加や、地域清掃活動をしています。



アカチャンホンポでは、こども110番の活動に参加しています（一部店舗のみ）。子ども110番とは、子どもが助けを求め駆け込んだ時に、その子どもを保護し、110番通報などの対応をいち早く行い、地域ぐるみで子どもの安全を守る取り組みです。また、全国一齊清掃活動を実施しました。第1回の6月28日（日）には、33店舗（159人）が参加し、ゴミ袋104袋分のゴミを収集しました。第2回の11月1日（日）には、26店舗（127人）が参加し、ゴミ袋96袋分のゴミを収集しました。

その他、CO₂削減の取り組みとして、数店舗でライトダウンキャンペーンも実施しました。



全国一齊清掃活動の様子

アカチャンホンポは、育児支援活動の実施とともに、地域の活動に参加していきます。

* 4 品質・店舗のこだわり



「赤ちゃんに安心して使える！」
「子育てって楽しい♪」という、
声が聞きたくて。



(財)日本品質検査協会での品質検査の様子

アカチャンホンポには数万点の商品が並んでいます。企画～生産～販売までの各シーンでアカチャンホンポ基準にもとづいた確認作業を行うことにより、お店に並ぶ全ての商品についての品質を保証しています。繊維製品については、公的検査機関で行なった品質検査のデータを「見える化」し、企画・工場・品質管理部門がリアルタイムで情報共有できる、業界内でも画期的な『アカチャンホンポQCweb』というインターネットシステムを開発し管理を行っています。特に商品の「安全性」を厳しく管理することは、赤ちゃん用品を提供する企業にとって社会的使命であると考えています。

アカチャンホンポには、毎日数万人のお客様がご来店されます。ママ・パパ・おじいちゃん・

おばあちゃんそしてお子様たちにとって、安全でお買い物しやすい環境となるように配慮し、商品を並べる棚の角を丸くしたり、通路を広くしたり、ハサミやカッターナイフなどの危険物を放置しないように管理しています。

また、お店に掲示している表示物についても、誤解を与えないか、見にくくないかということを定期的に確認しています。そして、アカチャンホンポに寄せられたお客様の声は「ステップアップメッセージ」として全店で共有し、商品に対するご要望は、商品改良の貴重な情報源と捉え、生産現場まで伝え、改善を図っています。

常にお客様の求める品質に目線を合わせて、お客様の声を形にしていきます。

♥ キッズデザイン賞を受賞しました。
♥ マザーズセレクション大賞を受賞しました。



*滅菌湯さらしガーゼ肌着
短肌着399円、長下着600円

アカチャンホンポオリジナルの「滅菌湯さらしガーゼ肌着」が、第3回キッズデザイン賞を受賞しました。キッズデザイン賞とは、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもたちを産み育てやすいデザイン」の顕彰制度です。この商品は、医療関連企業の協力のもと、医療用ガーゼの滅菌法を応用して滅菌しています。蒸気を通す特殊な袋に肌着を封入し、専用の釜で高圧蒸気を当て滅菌しているため、開封後でもすぐに安心して着せてあげられる商品です。

また、マザーズセレクション大賞2009を受賞しました。マザーズセレクション大賞とは、NPO法人日本マザーズ協会が主催しており、一般の方からの投票で「最もママたちに支持された商品・サービス」に贈られる賞です。「品数も多く利用しやすい。

一度に買い物ができる、まとめて買い物している」「便利な場所にある。価格も安い印象がある。子育て期の応援をしてくれる店舗だと思う」といった理由から、「アカチャンホンポ」が受賞しました。



12月6日(日)、豊洲にある「ガスの科学館」(がすでなーに)にて授賞式が行われました。

* 2010年に向けて

2009年

～未来のために、子どもたちのために～

創業77周年を迎えた2009年、「未来のために、子どもたちのために」をテーマとし、アカチャンホンポにできる活動を少しずつ実施してきました。エコ割引の開始や、ホワイトリボン運動への参加など、新しい取り組みのスタートとなる1年でした。これからも、「未来のために、子どもたちのために」というテーマのもと、より一層みなさまのお役にたてることを目標とし、アカチャンホンポはみなさまと共に進んでまいります。

2010年

～未来のために、子どもたちのために～ アカチャンホンポと一緒に、ちょっといいこと

エコ

ボランティア

子育て支援活動



“どんないい活動も、無理をせず長く続けていくことが大切。みなさまと一緒に、「未来のために、子どもたちのために」活動を続けていきたい。”そんな思いを込めて、2010年のアカチャンホンポは「～未来のために、子どもたちのために～アカチャンホンポと一緒に、ちょっといいこと」そのための3本柱「エコ」「ボランティア」「子育て支援活動」をテーマとし、活動を行っていきます。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。